



鼓膜穿孔^{せんこう}の新しい治療

＜鼓膜穿孔とは？＞

中耳炎や外傷などで鼓膜に穴が開いてしまう疾患です。鼓膜に穴が開いていると、難聴になり、耳だれがでることがしばしばあります。

＜従来の治療法＞

耳の後ろに切開を入れ組織を採取し、鼓膜穿孔に挿入する鼓膜形成術が一般的でした。

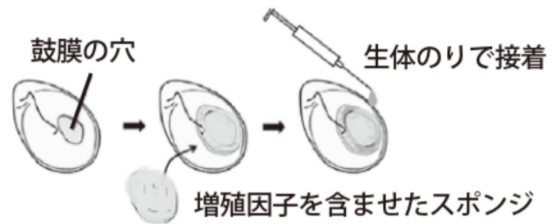
＜新たな治療法＞

2019年に皮膚の潰瘍や褥瘡(床ずれ)の治療に使われている薬剤を用いたリティンパという薬剤が発売され、組織を採取することなく鼓膜穿孔閉鎖術が行えるようになりました。より短時間で、患者さんの負担も少なくなり、外来、局所麻酔下で日帰り手術も可能です(穿孔の状態や患者さんの状況によりできない場合もあります)。

＜手術方法＞

局所麻酔を行った後、鼓膜穿孔の周りに傷をつけます。その後、薬剤を浸したゼラチンスポンジを挿入し、その上から組織接着剤(生体のり)で固定して終了です。手術時間は30分程度です(麻酔の時間を除く)。1回の治療では閉じないこともあり、治療は4回まで可能です。最終的に鼓膜穿孔が、閉鎖する確率は約80%です。

手術は顕微鏡下に行いますが、外耳道(鼓膜までのトンネル)が湾曲し、鼓膜穿孔が確認しにくい場合には内視鏡下に行うこともあります。局所麻酔の手術が難しい患者さんには、全身麻酔で行う場合もあります。全ての方がリティンパの適応となるわけではなく、診察、聴力検査、画像検査などを行い、適応を決定します。鼓膜穿孔にお悩みの方は、まずはお近くの耳鼻咽喉科に相談してみてください。



市立甲府病院耳鼻咽喉科 ^{こう} 黄 淳一 医師



- ・平成8年山梨医科大学医学部大学院卒
- ・上野原町立病院、山梨県立中央病院を経て、平成27年4月から当院勤務
- ・現在当院診療支援部長・医療安全管理部長(科部長兼務)

市立甲府病院… ☎ 055 (244) 1111

熱中症予防

— 子どもの熱中症 —

健康政策課… ☎ 055 (237) 2586

子どもは体温調節機能が未熟なため、脱水症状を起こしやすく、わずかな時間で悪化しやすいなどリスクが高くなります。

★子どもの熱中症予防のためのポイント★

- 日頃から暑さに慣れさせる
規則正しい生活習慣、普段から運動や入浴で発汗の習慣をつける
- 三食しっかり食事をとり、こまめな水分補給
外出や入浴、お昼寝の前後にも水分補給を
- 服装選びに工夫を
吸湿・通気性が良く温度調整ができる服装。帽子で日よけも
- 子どもの様子をよく観察
異常な発汗、唇の渇きやおしっこの量が減っていないか
- 車内に子どもを置きざりにしない
エアコンを使っても絶対に一人にしない

「クールシェアスポット」を開設しています！

市役所本庁舎、一部公民館(窓口センター)、一部福祉センター、甲府・峡東クリーンセンター、上下水道局等公共施設および民間協力施設



食中毒に気をつけましょう！

— 8月は食品衛生月間 —

生活衛生薬務課… ☎ 055 (237) 2550

気温も湿度も高くなる夏は、食中毒が発生しやすくなります。皆さんの家庭でも、正しく食品を扱わないと食中毒が発生します。

＼ 3原則を徹底しよう！ ＼

① につけない

調理や食事をする前には、必ず手を洗いましょう。また、肉や魚と生野菜は、包丁、まな板を使い分けましょう。



② ふやさない

購入した肉や魚、お惣菜などは、細菌が増えないよう、なるべく早く冷蔵庫に入れましょう。

③ やっつける

食品は中心までよく加熱しましょう。また、ふきんや調理器具は、洗剤でよく洗い、熱湯などで消毒しましょう。

